

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

【現状】

- 高齢化が進み介護保険サービスの利用希望者が増加している。
- 認知症高齢者の増加。
- 重度化・複雑化してからの相談が多い。
- ケアプラザの機能を知らない地域住民が多い。

【今後の方向性】

- 地域住民に対し、介護保険だけに頼らないインフォーマルサービス（サロン活動・ユートピア青葉等）の意識付け。
- 認知症高齢者やその家族に対して見守る体制づくり。
- 誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるよう『つながる』仕組みづくり。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
1	<input type="checkbox"/>	自身に合った介護予防の活動を探し、活動に参加することができるようユートピア青葉の講座の体験会を開く。
2	<input type="checkbox"/>	チームオレンジを活用して認知症について広めていきたいという思いを持つ住民を増やす。
3	<input type="checkbox"/>	地域ケア会議などを通してのケアマネジャーと地域の福祉保健関係者（民生委員・自治会・ボランティアなど）とのネットワークに構築に向けての検討の場を持つ。
4	<input type="checkbox"/>	エリア内にある元気づくりステーションの活動の継続に向けた支援としてハマトレ講座を行い、新たな担い手の発掘を行う。
5	<input type="checkbox"/>	必要な人に、ケアプラザの情報が伝わるように、クリニックや病院、薬局を定期的に訪問・情報交換する等し、連携を継続・強化する。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

随時、老人福祉センター職員との情報共有を行うことで、相談者などの意向を重視した活動に参加を勧めていくことができた。活動体験会は開催できなかったが、老人福祉センターの各種自主事業や老人福祉センターの登録団体の体験につながっているケースも多くなっている。チームオレンジに限らず、認知症サポーター養成講座などにより、認知症理解の啓発を行った。特に、学校からの依頼も多く、若年層の方の理解も進めていった。地域ケア会議は、地域の福祉保健関係者や地域のインフォーマル事業との意見交換など地域で活躍されている担い手の方とのネットワーク構築に向けた取組を行った。元気づくりステーションの活動もハマトレ講座や個別地域ケア会議などを通し、活動の必要性を担い手の方に強く感じてもらうこともでき、今後、新たな担い手だけでなく、新たな参加者の発掘にもつながっている。広報紙もリニューアルし、プラザや老人福祉センター事業の周知だけでなく、地域活動も周知することを主眼に置くこととした。広報紙の配架やあったかネットワークの活動協力をもとに、クリニックや薬局を訪問しながら、情報交換などを行っている。

☐ 区からのコメント

・合築施設である強みを生かし、老人福祉センターとも連携をとることができています。引き続き連携体制を維持していただければと思います。

・今年度はもえぎ野中学校全校生徒向けの比較的大規模な認知症サポーター養成講座も開催していただき、より多くのサポーター養成していただいたかと思えます。また若い世代への普及という面からも貴重な機会だったと感じております。次年度も認知症支援に取り組んでいただければと思います。

・元気づくりステーションに参加させていただいた際、活気溢れる様子で、今後も期待できる場であると確認できました。地域ケア会議でその有益性が支援者に認識されたこと、ケアプラザの広報紙の取材がされたこと等活动される方のやる気につながる機会となったことも大きなきっかけかと思えます。今後は元気づくりステーションに限らず、地域の居場所について支援者が関心を持つ、また広報紙等で紹介する等の発信をしていくことが必要と感じました。また、今後も継続して活動が実施されるよう、主となる担い手の発掘が次年度以降求められていくように思います。

・広報誌にてケアプラザの取組だけでなく、地域の取組も掲載することが、地域住民のやる気にもつながるのではないかと感じました。

・医院や薬局への訪問を通じて連携強化や情報収集できているのは非常に良い取組で、今後も続けていただければと思います。

令和6年度もえぎ野地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>1 地域包括支援センターにおいて、相談者が事業所選択をする際、公正中立を保つため、事業所一覧等を活用し、必要な情報を提供します。 また、相談者への公平中立に関するアンケートを実施し、対応の振り返りを行います。</p> <p>2 介護保険事業においては、サービス事業所の選択において、公正中立に基づき、利用者の課題を解決できる事業所を選択します。情報公表の評価や届出状況等を把握し、客観的に評価が高く、法令遵守している信頼のおける事業所を紹介できるよう努めます。 □ □</p>	<p>1 運営施設の事故報告だけでなく、法人全体における事故報告を集計分析するとともに、職員間で共有します。その結果を受けて、施設で事故の分析や再発防止に向けた検討・対応を行い、事故防止に役立てます。また、ヒヤリハット事例の抽出・共有を行い、事故や事故までには至らない潜在リスクの情報についても職員全体で共有・分析し、事故防止に生かします。</p> <p>2 個人情報保護に関する研修を実施し、誓約書を全職員と取り交わすことで意識啓発並びに体制整備を行い個人情報の保護に努めます。また、ケースファイル等個人情報が含まれる書類の取り扱いについて、必要時以外の持ち出しの禁止といった事業所内ルールを職員に定期的に周知します。ボランティアや実習生に対しても、施設内で知り得た情報の守秘義務について説明します。</p> <p>3 法人で作成している「コンプライアンス推進ハンドブック」に沿って法令及び内部規定の遵守はもとより、市民の願いや期待に応えることを目指し、毎年私の職場の行動計画を立てて業務に取り組みます。</p>
実績	<p>・相談者のニーズを重視しながら、ハートページの事業所一覧などを活用し、複数の選択肢を提示しました。区から依頼された公正中立のアンケートを実施し、振り返りの機会としました。</p> <p>・利用者の課題を確認しながら、課題解決に向けた取組を重視し、サービス事業所選択につなげました。集中減算なども常に確認しながら、偏りなく、事業所紹介ができていたかを随時、確認しました。</p>	<p>・事故に至らない、ヒヤリハット事例も所内各種会議で共有し、再発防止のための協議をしました。事故事例に関しても、法人全体で共有し、所内各種会議で報告・検討しました。</p> <p>・職員全体会議にて、個人情報保護研修を実施し、全職員に誓約書を取り交わしました。個人情報の持ち出しは、必要時のみとし、持ち出す際は、持出簿を利用し、返却の確認を徹底しました。</p> <p>・職員全体会議で、「コンプライアンス推進ハンドブック」に沿って、法令・内部規定の順守の徹底を図り、職場の行動計画を全職員で共有しました。</p>

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者が目標を持って健康増進や介護予防に努め、自立した生活を送ることが出来るよう支援します。また、職員及び地域のケアマネジャーが地域包括ケアシステムを意識したケアマネジメントに取り組めるよう支援します。	ご利用・ご家族の意思を尊重し、住み慣れた地域で自立した日常生活が継続できるように、地域の医療・福祉・ボランティア等を総合的に提案・調整し、効率的な支援を行います。また、ケアマネジャーの資質向上のため包括と共に事例検討等を実施し、より良いケース対応に努めます。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】	【その他料金】

職員 体制	管理者 主任ケアマネジャー 1名(常勤兼務) 社会福祉士 2名(常勤兼務) 保健師等 1名(常勤兼務) 非常勤保健師専従 1名	管理者 1名(常勤兼務) 介護支援専門員 3名(常勤職員兼務1名、非常勤専従2名)
契約 者数	350名	74名

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	1 利用者・ご家族へ寄り添い、安心して自分らしく暮らすための支援を多職種また地域の方々と協働し進めます。 2 地域のつながりを大切にし、利用者を含む地域住民が主体的に助けあい、支えあうまちづくりが実現できるよう、ボランティア受け入れ、どなたでも参加できる居場所や役割のある地域づくりを進めます。		
実施 体制	【実施日数】 週6日(月～土) ただし、12月29日～1月3日を除く 【提供時間】 10:15～15:20 【定員】 45名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用 料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】 食費800円	【その他料金】	【その他料金】
職員 体制	管理者1名(常勤兼務) 生活相談員4名(常勤兼務2名・非常勤兼務3名) 看護師4名(非常勤兼務4名) 機能訓練指導員4名(非常勤兼務4名) 介護職員(常勤兼務2名・非常勤兼務11名)		
契約 者数 等	【延べ利用者数】 6685名 【契約者数】 46名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和6年度「もえぎ野地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部						(単位：円)
科目	当初予算額	補正額	予算現額	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,734,863	1,347,075	18,081,938	18,024,008	57,930	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	41,500	△ 41,500	
雑入	0	0	0	211,738	△ 211,738	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0	182,218	△ 182,218	
その他			0	29,520	△ 29,520	
その他	4,073,000		4,073,000		4,073,000	
収入合計	20,807,863	1,347,075	22,154,938	18,277,246	3,877,692	
支出の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,313,154	128,524	12,441,678	10,133,256	2,308,422	法人本部経費は含まれていません
本俸	9,740,154	128,524	9,868,678	8,517,365	1,351,313	
社会保険料	929,000		929,000	889,516	39,484	
手当計	1,538,000		1,538,000	432,580	1,105,420	
健康診断費	18,000		18,000	335	17,665	
勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000	6,750	△ 750	
退職給付引当金繰入額	82,000		82,000	286,091	△ 204,091	
その他			0	619	△ 619	
事務費	200,000	0	200,000	1,320,356	△ 1,120,356	法人本部経費を含む
旅費	3,000		3,000	2,954	46	
消耗品費	71,000		71,000	322,370	△ 251,370	
会議明い費	0		0	88,607	△ 88,607	
印刷製本費	26,000		26,000	0	26,000	
通信費	11,384		11,384	56,578	△ 45,194	
使用料及び賃借料	0	0	0	29,520	△ 29,520	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	29,520	△ 29,520	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	50,000		50,000	24,656	25,344	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	13,616		13,616	33,145	△ 19,529	
職員等研修費	5,000		5,000	9,316	△ 4,316	
振込手数料	20,000		20,000	0	20,000	
リース料			0	53,274	△ 53,274	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	29,500	△ 29,500	
その他	0		0	670,436	△ 670,436	
事業費	2,280,000	0	2,280,000	172,682	2,107,318	法人本部経費は含まれていません
運営協議会経費	0		0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	2,280,000		2,280,000	172,682	2,107,318	
その他			0		0	
太陽光パネル保守点検	0	0	0	0	0	
太陽光パネル保守点検			0		0	
太陽光パネル修繕（追加）	0	0	0	0	0	
太陽光パネル修繕（追加）			0		0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）			0		0	
管理費	4,470,000	0	4,470,000	6,288,654	△ 1,818,654	法人本部経費は含まれていません
光熱水費	3,028,704		3,028,704	4,548,581	△ 1,519,877	
清掃費	528,936		528,936	555,386	△ 26,450	
機械整備費	50,105		50,105	50,105	0	
設備保全費	862,255	0	862,255	1,102,531	△ 240,276	
空調衛生設備保守	445,317		445,317	167,965	277,352	
消防設備保守	127,160		127,160	127,160	0	
電気設備保守	31,886		31,886	56,939	△ 25,053	
害虫駆除清掃保守	19,739		19,739	19,739	0	
駐車場設備保全費	62,632		62,632	62,632	0	
その他保全費	175,521		175,521	668,096	△ 492,575	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	32,051	△ 32,051	
修繕費	474,000	1,218,551	1,692,551	1,643,621	48,930	予算：指定額
公租公課	1,070,709	0	1,070,709	0	1,070,709	法人本部経費は含まれていません
事業所税			0		0	
消費税	1,070,709		1,070,709		1,070,709	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	20,807,863	1,347,075	22,154,938	19,558,569	2,596,369	
差引	0	0	0	△ 1,281,323	1,281,323	
自主事業費 収入	0	0	0	41,500	△ 41,500	
自主事業費 支出	2,280,000	0	2,280,000	172,682	2,107,318	
自主事業 収支	△ 2,280,000	0	△ 2,280,000	△ 131,182	△ 2,148,818	
管理許可・目的外使用許可に関わる収入	179,000	0	179,000	182,218	△ 3,218	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	26,000	0	26,000	29,520	△ 3,520	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	153,000	0	153,000	152,698	302	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度「もえぎ野地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	37,342,309		37,342,309	33,299,083	4,043,226	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	300,000		300,000	300,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,951,811		5,951,811	5,951,811	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			6,916,000		6,916,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	6,916,000		6,916,000		6,916,000	
収入合計	50,664,120	0	50,664,120	39,704,894	10,959,226	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	45,973,122	0	45,973,122	32,105,258	13,867,864	法人本部経費が含まれていません
本俸	26,417,122		26,417,122	25,418,631	998,491	
社会保険料	5,326,000		5,326,000	4,476,417	849,583	
手当計	6,063,000		6,063,000	619,192	5,443,808	
健康診断費	63,000		63,000	25,428	37,572	
勤労者福祉共済掛金	36,000		36,000	32,250	3,750	
退職給付引当金繰入額	1,786,000		1,786,000	1,530,384	255,616	
その他	6,282,000		6,282,000	2,956	6,279,044	
事務費	450,000	0	450,000	705,225	△ 255,225	法人本部経費が含まれています
旅費	35,000		35,000	48,859	△ 13,859	
消耗品費	80,000		80,000	47,517	32,483	
会議諸費	6,000		6,000	10,663	△ 4,663	
印刷製本費	120,000		120,000	0	120,000	
通信費	50,000		50,000	279,784	△ 229,784	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	90,000		90,000	242,936	△ 152,936	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	8,810	△ 8,810	
職員等研修費	26,000		26,000	11,198	14,802	
振込手数料	9,000		9,000	0	9,000	
リース料	23,000		23,000	11,003	11,997	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	11,000		11,000	21,000	△ 10,000	
その他	0		0	23,455	△ 23,455	
事業費	2,927,998	0	2,927,998	457,697	2,470,301	法人本部経費が含まれていません
協力医	630,000		630,000	210,000	420,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	1,623,998		1,623,998	56,170	1,567,828	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	153,200	800	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	300,000		300,000	33,810	266,190	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	220,000		220,000	4,517	215,483	
その他			0		0	
管理費	1,187,000	0	1,187,000	1,605,471	△ 418,471	法人本部経費が含まれていません
光熱水費	959,000		959,000	1,209,116	△ 250,116	
清掃費	80,000		80,000	147,633	△ 67,633	
機械警備費	13,000		13,000	13,319	△ 319	
設備保全費	135,000	0	135,000	226,884	△ 91,884	
空調衛生設備保守	40,000		40,000	44,648	△ 4,648	
消防設備保守	33,800		33,800	33,801	△ 1	
電気設備保守	7,500		7,500	15,134	△ 7,634	
害虫駆除清掃保守	5,000		5,000	5,246	△ 246	
駐車場設備保全費	16,600		16,600	16,648	△ 48	
その他保全費	32,100		32,100	111,407	△ 79,307	
共益費			0	0	0	
その他			0	8,519	△ 8,519	
修繕費	126,000		126,000	112,989	13,011	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	50,664,120	0	50,664,120	34,986,640	15,677,480	
差引	0	0	0	4,718,254	△ 4,718,254	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	2,297,998	0	2,297,998	247,697	2,050,301	
自主事業 収支	△ 2,297,998	0	△ 2,297,998	△ 247,697	△ 2,050,301	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度 もえぎ野地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名:もえぎ野地域ケアプラザ

令和6年年4月1日～ 令和7年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援・第1号介護予防支援			居宅介護支援			通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	19,531	19,522	9	16,959	10,554	6,405	67,749	59,240	8,509
	その他	0	0	0	0	548	0	443	911	-468
	事業・負担金収入			0			0	278	855	-577
				0			0			0
				0			0			0
				0			0			0
				0			0			0
	その他			0			0	165	56	109
	収入合計(A)	19,531	19,522	9	16,959	11,102	5,857	68,192	60,151	8,041
支出	人件費	1,949	4,118	-2,169	12,720	10,177	2,543	44,528	47,479	-2,951
	事務費		10	-10	46	29	17	762	690	72
	事業費	62	12,086	-12,024	273	345	-72	18,663	13,087	5,576
	管理費			0	0		0	4,730	11,174	-6,444
	その他	13,197		13,197	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0
	消費税			0			0			0
	介護予防プラン委託料	13,197		13,197			0			0
				0			0			0
				0			0			0
				0			0			0
	その他			0			0			0
	支出合計(B)	15,208	16,214	-1,006	13,039	10,551	2,488	68,683	72,430	-3,747
収支 (A)－(B)		4,323	3,308	1,015	3,920	551	3,369	-491	-12,279	11,788

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和6年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）				7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	かいごの知恵袋講座	H23	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	在宅で介護を行っている方を対象に、介護に関する情報・役立つ知識等を知ることや介護者同士がつながり通じて、孤独や孤立することなく社会とつながり介護に向き合うことを目的とする。	5: 地域		介護に役立つ介護者向け講座と交流の場。奇数月に講座形式で実施。	5	64
2	キャラバンメイト連絡会	H28	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	キャラバンメイトの意欲を実際のサポーター養成講座の開催や地域向け認知症理解の取り組みに繋げていくことを目的とする。	5: 地域		キャラバンメイト間の意見交換、交流によるチーム育成。認知症サポーター養成講座開催等、具体的な活動内容の検討、準備を行う。また、自主運営に必要な研修を実施する。年2回開催。	2	17
3	認知症サポーター養成講座	H23	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域住民同士で認知症について理解し、見守りあえる関係を作れるようにするため、認知症の普及啓発や利用促進も目的とする。	5: 地域		小・中学校、地域住民、地区センターを対象に実施。	8	647
4	かいごの知恵袋おしゃべりサロン	R5	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	在宅で介護を行っている方を対象に、茶話会を行う。介護者同士のピアカウンセリング、孤立を防ぐことを目的とする。	5: 地域		テーマを設けず茶話会形式で偶数月実施。	7	37
5	みたけ台介護予防講座	R6	2: 地域包括支援センター運営事業	2: 発展させるねらい	地域ケアプラザより遠方のみたけ台エリアで介護予防の連続講座を実施し地域住民が地域ケアプラザを身近に感じ、早い段階での相談につながる等の顔の見える関係づくりができる。	1: 高齢者		、介護予防の具体的な取り組み方法や地域ケアプラザの機能周知、老人会の参加者以外の高齢者でも定期的に参加できる介護予防の場として実施。1回/月	11	212
6	ハマトレ講座	R2	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	ハマトレに取り組むグループリーダーやメンバーを対象に手技やその意義を確認する事で、活動者のモチベーションの維持向上を目的に実施。	5: 地域	1高齢者	ハマトレ講座と介護予防の具体的な取組方法について 9/11・10/9・11/13	3	45
7	もえぎ野配食	H13	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	包括エリア内の独居高齢者および高齢者世帯等の要援護者の安否確認を目的とする。弁当の配達部分については、個人ボランティアが担う。	1: 高齢者		毎月第1火曜日の昼食の弁当配達を行う。プラザ居宅部門と包括部門のケースの安否確認を行い、利用者の状況を把握する。調理の部分はボランティアグループ「ミントの会」に依頼、配達部分は「もえぎ野配食サポーター」が担う。	11	159
8	図書貸出事業	H18	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	世代を超えた幅広い層の地域住民がケアプラザに來館することで、福祉保健活動に関心を持ち、地域活動に参加する市民のすそ野を広げることを目指す。	5: 地域		図書の貸出と、ボランティアグループ協力による蔵書管理を行う。＜図書貸出：随時＞	72	233
9	もえぎ野茶屋	H30	7: 共催（1と2と3）	1: 優先的に取り組み	上谷本・谷本地区および周辺に在住で、外出の機会が少ない概ね65歳以上の高齢者の交流・健康づくりを目的とする。また、ケアプラザ登録団体にボランティア活動等の協力をしてもらい、団体の福祉保健活動を発展させるきっかけの場としても活用する。	1: 高齢者		参加者は、講師の指導のもと体操に取り組み、その後お茶を飲みながらの社会的交流を図る。ケアプラザは参加者のニーズ把握や地域情報提供の場とする。 ＜第2水曜日＞	11	203
10	フリー学習スペース「いこっと」	H29	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	放課後、学習する場のない小学生・中学生が学習できる環境を整備し提供する。学習を通して放課後の居場所となるほか、経済的に塾に通うことのできない児童を支援することを目指す。	4: 子ども・青少年		小学生と中学生が自由に自分のスペースで学習に取り組むことが可能なスペースを開放。学習支援できるボランティアが2名在室し、質問等について対応する。＜毎週水曜日＞	54	1273
11	あおば子ども食堂	H29	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	子どもの居場所や子どもの貧困等、社会的孤立の現状把握・解決につなぐことを目指す。あおば子ども食堂実行委員会および青葉区社協と共催で実施。尚、同日に他3施設（ふれあい青葉・さつきが丘CP・美しが丘CP）も実施し、区内各エリアの特性をより把握する。	4: 子ども・青少年		子ども食堂実行委員会のボランティアによる手作りのお味噌汁とおにぎりを提供する。参加費は100円。＜毎週水曜日＞	51	3314
12	あったかネットワーク	H28	7: 共催（1と2と3）	1: 優先的に取り組み	もえぎ野地域ケアプラザのエリア（上谷本地区・谷本地区）で活動する人が集まり、この地域の課題を出し合い、それに対するイベントや事業を実施する。	5: 地域		福祉教育・啓発活動、見守り、多世代交流の場の開催等、地域課題を共有し、解決策を検討。地域住民や商店会等と協力して、具体的な活動を行う。対象は分野を超えた全住民。	3	37
13	チームオレンジ スローショッピング	R6	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	もえぎ野チームオレンジの活動として、普段買い物に困り感のある高齢者（認知症に限らない）が楽しみながら、安心して買い物をする機会を提供する。	1: 高齢者		東急ストア藤が丘店でのスローショッピングおよび自宅から東急ストアへの送迎サービス（送迎は地域密着型デイの地域貢献活動）。	1	1
14	青葉区版エンディングノート「わたしノート」講座	H29	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域住民に対してエンディングノートや遺言書に関する講座を開催することで、制度の普及啓発及び意思決定支援を図ることを目的として実施する。	5: 地域		後見人受任している行政書士を講師とした勉強会。	1	20

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業			1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（１と２）	5：共催（１と３）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（２と３）	7：共催（１と２と３）					7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
15	上谷本地区「気づきの種まき」	R7	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	上谷本地区でのご近所同士によるさりげない見守りを推進する取組。身近な人が困っている時に周りの人たちが気づき合える街づくりを目指す。 気になることがある際にCPに連絡が出来るよう、CPの周知も行っていく。	5:地域		地域住民を対象に、地域での気づきを共有する場として、全体化を実施。 隣近所のことを少しでもしただけにかけてもらうよう普及啓発を行う。	1	30
16	健康チェックサロン	R6	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	バルシステム神奈川の福祉事業所にて、血管年齢、体組成、握力などの県エチェックを実施。健康チェック語は、おしゃべりができるスペースを設け、地域の居場所となるサロンを目指す。	5:地域		毎月第2火曜日 健康チェック、ケアプラザの役割や機能についての情報提供。	6	64
17	ポッチャを楽しもう	R6	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	ポッチャをツールとして地域の高齢者同士の交流の場と、地域のボランティア活動の場の創出、そしてケアプラザの周知を目指す。	1:高齢者	5:地域	令和6年6月1日(土) ポッチャの体験	1	19
18	NPO法人青空保育べんべんぐさ講演会	R6	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域とのつながりが減り、育児が密室化・孤立化しやすくなっている環境の中、不安を抱える保護者の子育てで不安が低減するよう子育て支援講演会を実施します。なお、ケアプラザ利用登録団体「NPO法人青空保育べんべんぐさ」と共催により実施します。	4:子ども・青少年	3:養育者及び乳幼児	令和6年9月18日(水) 講演会の実施・交流会	1	135
19	実践編ABAを知ろう 講座	R6	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	昨年度開催の「子育て支援ネットワーク」にて、担当地域内には子供の発達に心配事を抱えている親が多いとの報告があり、子育て世代の困りごとの解消の場を提供する機会として講座を実施する。	2:障害児・者	3:養育者及び乳幼児	令和6年12月1日(日) 東京学芸大学非常勤講師 加藤慎吾先生による講座 参加者による懇親会	1	15
20	障害者週間イベント 障害を知ろう！	R5	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	・障害者週間に合わせて、“障害”の普及啓発する。 ・障害について考えるきっかけを作る。 ・イベントを通して、障害者についての接し方や考え方を変えてもらう。	7:その他	1,3	令和6年12月4日(水) あおば支援学校の山本講師を招き、障害についての講座を実施。	1	7
21	障害者週間イベント 発達障害について	R5	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	・障害者週間に合わせて、“障害”の普及啓発する。 ・障害について考えるきっかけを作る。 ・イベントを通して、障害者についての接し方や考え方を変えてもらう。	7:その他	1,3	令和6年12月8日(日) あおば支援学校の山本講師を招き、発達障害についての講座を実施。	1	11
22	障害者週間イベント あおば支援学校の学生の作品展示	R5	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	・障害者週間に合わせて、“障害”の普及啓発する。 ・障害について考えるきっかけを作る。 ・イベントを通して、障害者についての接し方や考え方を変えてもらう。	7:その他	1,3	令和6年12月1日(日)～令和6年12月20日(金) あおば支援学校の作業学習の説明や様子、製品を展示。	1	5
23	第24回もえぎ野まつり	H9	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	幅広い世代の地域住民にセンターへの理解と周知を目的として実施する。	5:地域	3,4	内容:ものづくり体験、懐かし遊び体験、スーパーボールすくい、クイズ、読み聞かせ、高齢者疑似体験、体力測定、バザー、バルーンアート、福祉用具体験、地域福祉計画展示、老人福祉センター利用団体演奏会及び展示 実施日時:令和6年10月20日	1	1015
24	親子で食育講座	R6	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	昨年度実施の子育て支援ネットワークにおいて、地域に野菜嫌いを訴える子が多いことから、食育に向けた取組が望まれていたため、食育講座を実施する。	4:子ども・青少年		令和6年12月21日(土) 柿の木台・桂台地区担当食生活等改善推進員会と共催 親子向けの食育講座の実施	1	14
25	小学生向け認知症サポーター養成講座	R2	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症について理解し、見守りあえる関係を作れるようにするため、小学生向けに認知症の普及啓発を行うことで、認知症について正しい理解ができることを目指す。	4:子ども・青少年		つつじが丘小学校6年生向けに実施。認知症キャラバンメイトによる認知症の正しい理解、対応方法等の講話と個人ワーク。	1	85
26	成年後見制度「小さな勉強会」	R5	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	障害をもつ方の親亡き後に対する準備を考える機会として実施する。	5:地域		後見人受任している社会福祉士を講師として座談会形式の成年後見制度勉強会。	1	3
27	「目からウロコの障害年金のはなし」	R6	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障害年金は病気やけがによって生活や仕事などが制限されるようになった場合に現役世代含め受け取ることができる公的年金であるため、当事者、地域住民に向け情報提供をする機会として実施する。	5:地域		障害年金申請に特化した社会保険労務士兼1級ファイナンシャルプランナーによる制度説明・事例紹介	1	6
28	利用者団体交流会	R6	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	・登録団体同士の交流と、団体間の横のつながりづくりの支援を行う。	7:その他		令和7年3月11日(火) 意見交換・グループワーク・避難経路確認	1	45
29	誰もが楽しむことができるポッチャ講座	R6	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	地域で行うポッチャを学び身近に感じることで介護予防の普及を目指す。	1:高齢者		障害のある方や高齢者でもできる様々なポッチャの方法を学ぶ 2回/年	2	21
30	生きがい探し講座	R6	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	趣味を見つける後押しをし、趣味活動から広がる人とのつながりをもち、生きがいを持って介護予防へつなげる事ができる。	1:高齢者		個別に趣味に出きる活動内容を探し今後継続的に活動できるよう支援を行う。 2回/年	2	6
31	オレンジライトワークショップ	R6	4:共催(1と2)	2:発展させるねらい	市民に認知症への理解や関心を深めてもらうこと。	5:地域		令和6年11月30日(土)10:00～11:30 牛乳パックで認知症普及啓発のテーマカラーであるオレンジの明りを灯すランタンを製作するワークショップを開催。	1	1

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（１と２）	5：共催（１と３）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（２と３）	7：共催（１と２と３）				7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
32	誰もが楽しむことができるポッチャ講座について	R6	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	身近な場所で実施できる運動として地域の方への普及を狙う。	1:高齢者		ポッチャを色々な形で紹介・または楽しめる運動として実際にゲームを行う	2	21